

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
1	公共的空間安心・安全確保事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、持続的な対策を講じることで、町民生活に必要な行政サービスの継続的な提供を図ることを目的とする。パーテーションの設置による飛沫感染防止、システム及び券売機導入により、手続きに要する時間の短縮、利用者との接触機会の低減を図る。	4,303,442	4,303,442	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーテーション 644,952円(全96枚)</li> <li>本人確認書類裏面印字システム 1台</li> <li>券売機 1台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的な新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じたことで、町民生活に必要な行政サービスの継続的な提供を図ることができた。</li> <li>2016年のマイナンバー制度の施行により、窓口業務が増加。それに伴う個人番号カードの住所変更や、外国人の在留カードの裏書処理が急増している。システムの導入により、正確な印字、処理速度がアップし、待ち時間の短縮にもつながった。</li> <li>券売機の設置により、購入手続きの円滑化、利用者との接触機会を最小限に抑えることができた。</li> </ul>	R3.7	R4.3	総務課 住民課 保健福祉課
2	町有大型バス感染症対策事業	大型バス車内に飛沫感染防止パーテーションの設置を行うことにより、感染症の感染防止、蔓延防止に役立ち、利用者の安心安全が確保される。	86,460	86,460	バス用パーテーション座席用(モール貼加工) 36枚	大型バス車内に飛沫感染防止パーテーションを設置したことにより、感染症の感染防止、蔓延防止に役立ち、利用者の安心安全が確保された。	R3.6	R3.7	総務課
3	大樹町プレミアム商品券発行事業	新型コロナウイルス感染症による地域経済に与える影響を和らげるとともに、町内における消費を喚起・下支えすることを目的とする。	17,695,888	12,713,784	<p>プレミアム商品券を発行。全店共通商品券と飲食店限定商品券の2種類を販売。</p> <p>【全店共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用期間: 令和3年9月1日～令和4年1月31日</li> <li>発行内容: 6,500円分(500円×13枚)の商品券を5,000円で販売。</li> <li>プレミアム率: 30%</li> <li>発行総数: 8,000セット</li> <li>換金総数: 103,806枚(99.81%)</li> </ul> <p>【飲食店限定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用期間: 令和3年9月1日～令和4年1月31日</li> <li>発行内容: 3,000円分(500円×6枚)の商品券を2,000円で販売。</li> <li>プレミアム率: 50%</li> <li>発行総数: 5,000セット</li> <li>換金総数: 29,687枚(98.96%)</li> </ul> <p>○事業費: 補填費 16,925,448円、事務費 770,440円 ○その他財源: 道補助 4,982,104円</p>	<p>全店共通商品券は、食料品・飲料を扱う7店舗で全体の58.86%の利用となったが、残りの40%程度は幅広い業種で使用された。</p> <p>飲食店限定商品券は、各店舗における感染対策やテイクアウトの取り組みにより、ほぼ全ての店舗で利用された。</p> <p>このことから、プレミアム商品券の発行により、地域内消費の喚起効果があったと考えられる。</p> <p>また、同時期に商工会によるクーポン事業も実施され、それによる相乗効果があった。</p>	R3.9	R4.2	企画商工課
4	大樹町時短営業等協力事業者支援事業	新型コロナウイルス感染症による地域経済に与える影響を和らげ、町内飲食店等の経営継続を支えることを目的とする。	2,100,000	2,100,000	<p>道の休業要請に応じた町内飲食店等に対し協力支援金を支給。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援金: 100千円×21事業所</li> </ul>	休業や感染リスクを低減する自主的な取り組みの実施要請に応じ、収入が減じた町内飲食店等に対し協力支援金を支給することで、事業継続の下支えにつながった。	R3.6	R3.8	企画商工課
5	大樹町内飲食店クーポン券発行事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している町内飲食店を支援する。町民全員に町内飲食店で使えるクーポン券を配布し、町民の消費行動を促す。また閑散期である9月～11月の期間に実施することで、飲食店の経営継続を下支えする。	5,135,094	5,135,094	<p>全町民へ500円分の飲食店限定クーポンを2枚配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用期間: 令和3年7月2日～令和3年10月31日</li> <li>配布総数: 5,490人×2枚=10,980枚</li> <li>利用総数: 9,117枚(83.03%)</li> <li>事業費: 補填費 4,558,500円、事務費 576,594円</li> </ul>	8割を超えるクーポンの利用があったことから、町内飲食店の下支え、町民の町内消費喚起並びに地域経済の活性化につながった。	R3.7	R3.10	企画商工課
6	大樹町飲食店等販売促進事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少している町内飲食店等を支援するため、当該飲食店等が実施する「販売促進事業」の経費を町が補助する。これにより顧客を呼び戻し飲食店等の経営継続につなげる。	1,635,000	1,635,000	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少している町内飲食店等が顧客を呼び戻すために行う販売促進の取組に対して支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助金: 1,635,000円(18事業所)</li> </ul>	誘客のためのチラシやパンフレットの作成、ノベルティグッズ、テイクアウト等の導入経費を支援することで、町内飲食店等の販売促進を図ることができた。	R3.7	R3.10	企画商工課
7	大樹町感染予防対策等緊急支援事業	地域の商工会が実施する感染症拡大防止対策等の取り組みへの支援を目的とし、新型コロナウイルスに対応した備品拡充により感染拡大防止への寄与が期待できる。	1,200,000	300,000	<p>大樹町商工会が実施する新型コロナウイルス感染拡大防止および消費促進・拡大に向けた取り組みに対する補助。</p> <p>事業内容: 消毒液・非接触型体温計の配布。 補助額: 300,000円</p>	会員の感染予防及び感染防止啓発を行う商工会を支援することにより、事業者のみならず町民が安心して生活できる社会を実現し、地域経済の活性化を図ることにつながった。	R3.7	R3.10	企画商工課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
8	勤労者センター 安心安全確保 事業	勤労者センターは、地域労働者 や地域住民の集会などに使用さ れている。感染リスクの高いトイレ 利用時において、水を流す際に 発生する飛沫感染リスクを低減 するため和式トイレを洋式トイレ に改修する。	660,000	660,000	トイレ洋式化改修 660,000円	感染リスクの高いトイレを、和式から 洋式に改修したことにより、本施 設を利用する地域の労働者や住民 の感染リスク低減を図り、安心・安 全な施設運営につなげることができ た。	R3.7	R3.11	企画商工課
9	宇宙のまちづく り推進事業	大樹町宇宙交流センターSORA への一般来場者に対して、確実に 検温・消毒を行うことで、感染 拡大防止の対策を行う。	500,000	500,000	検温及び手指への消毒を同時に行うことができる、感染予 防対策デジタルサイネージを導入。	本施設は、町内で行われている実 験等を紹介する展示施設で、全国 各地から不特定多数の見学者が来 場することから、入館時の検温・消 毒による感染症対策は必須であ る。 これまで、本施設のガイドが業務を 中断し検温・消毒の対応を行って いたため、来場者が多い場合には対 応が難しく、本来業務にも支障がで ていたが、本自動検温・消毒システ ムを導入したことで、来場者が確実 に検温・消毒をした上で入場するこ とが可能となり、感染症対策を徹底 することができるようになったこと に加え、ガイド本来の業務を遂行でき る体制が整った。	R3.7	R3.11	企画商工課
10	町有車両感染 防止対策事業	保育園児童送迎車とスクールバ スに抗菌処理を行うことにより、 新型コロナウイルス感染症対策 を強化し、利用者の安全を確保 する。	366,300	366,300	・児童送迎車ハイエース3台 29,700円×3台=89,100円 ・スクールバス8台 定員61名用 49,500円×1台 定員43名用 39,600円×2台 定員29名用 29,700円×4台 定員14名用 29,700円×1台 小計277,200円 合計366,300円	保育園児童送迎車とスクールバス に抗菌処理を行うことにより、新型 コロナウイルス感染症対策を強化 し、利用者の安全を確保することが できた。	R3.7	R3.9	総務課 保健福祉課
11	学校保健特別 対策事業費補 助金	感染症対策を行いながら、学校 教育活動の継続を支援する。	1,610,738	800,000	感染症対策や児童・生徒の教育活動継続に必要な消耗品 や備品を購入した。 消耗品(マスク、手袋、消毒液等) 784,066円 備品(加湿空気清浄器、二酸化炭素濃度チェッカー、プロ ジェクター、モバイルスクリーン、ワイヤレスヘッドセット) 826,672円	感染症対策により児童・生徒が安 心して学ぶことのできる体制を整備 することができた。 また、臨時休校等になった場合も教 育活動を継続できるよう、オンライ ン授業等に対応できる環境を整備 することができた。	R3.4	R4.2	学校教育課
12	大樹高等学校I CT環境整備事 業	大樹高校の生徒・教員にタブレッ ト端末を整備し、学習環境のICT 化を図ることにより、遠隔・オンラ イン学習が可能となる環境を整 備する。	4,180,000	4,180,000	タブレット端末 48,400円×57台 その他(カバー、収納ケース等) 1,421,200円	生徒・教員1人1台のタブレット端末 貸出が可能となり、ICTを活用した 授業を行うための学習環境を整備 することができた。	R3.7	R3.11	学校教育課
13	大樹町特別養 護老人ホーム 感染防止対策 設備設置事業	新型コロナウイルス感染防止対 策の強化を目的として、厨房前 ホールに手洗い器を設置する。 給食エリアの衛生管理の強化徹 底を図るため厨房前ホールに給 食エリア専用の清掃用シンクを設 置する。	2,046,000	2,046,000	厨房前ホール手洗い器及び清掃用シンク設置工事 2,046,000円	厨房内設置の手洗い器にて手指の 洗浄・消毒を実施していたが、厨房 前ホールに手洗い器を設置したこと により厨房入室前に手指の洗浄・ 消毒の実施が可能となり厨房内の 衛生管理を更に向上させることが できた。また給食エリア専用の清掃用 シンクを設置したことにより給食エ リア外との接触の機会を減らすこと ができたため衛生管理の強化を図 ることができた。	R4.2	R4.3	特別養護老人ホーム
14	大樹町赤ちゃん 誕生祝い金支 給事業	新型コロナウイルス感染症対策 として令和2年度に実施した赤 ちゃん特別定額給付金事業に引 き続き、子育て世帯に新型コロナ への生活支援を行うとともに、出 産にあたっての子どもの健やか な成長の支援を行う事ができる。	3,300,000	3,300,000	新型コロナウイルス感染症への生活支援と、子育て支援を 目的として、生まれた新生児に対して、特別定額給付金と 同額の10万円を支給した。 10万円×33人	子育て世帯の生活を支援するととも に、出産にあたっての子どもの健や かな成長を支援することができた。	R3.4	R4.3	保健福祉課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)	うち交付金(円)	事業実績	効果検証	事業期間		担当課
							始期	終期	
15	保育対策事業費補助金	尾田認定こども園、認定こども園大樹南・北保育園での新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品を整備する。	1,502,445	700,000	・尾田認定こども園 マスク、消毒液、空気清浄機等 502,445円 ・認定こども園大樹南・北保育園 検温サーマルカメラ2台、衛生用品等 1,000,000円  総事業費1,502,445円 (交付金700,000円、国補助金700,000円)	尾田認定こども園、認定こども園大樹南・北保育園での新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品を整備することができた。	R3.4	R4.3	保健福祉課
16	大樹町特別養護老人ホーム感染防止対策事業	特別養護老人ホーム利用者及び職員の感染防止のためプラスチック手袋の確保・備蓄を目的とする。	2,135,650	2,135,650	プラスチックグローブ 60,000枚 1,386,000円 ニトリル手袋 29,000枚 749,650円	価格が高騰及び品薄となっている状況のなか本交付金を活用し感染予防に必要なプラスチックグローブ及びニトリル手袋を確保・備蓄することができた。	R4.3	R4.3	特別養護老人ホーム
17	大樹町立国民健康保険病院事業会計補助	新型コロナウイルス感染症の蔓延とワクチン接種に伴う業務量の増大により、地域の基幹病院である大樹町立国民健康保険病院の人的リソースが逼迫していることから、大樹町立国民健康保険病院事業会計に補助し、新型コロナウイルス対応のための体制拡充の一時的な雇用に必要な費用を交付対象経費とする。	16,464,545	16,464,545	雇用人数10名 述べ54か月 16,136千円	派遣会社からの看護師などの起用により、病棟の機能維持はもちろん、通常の外来診療機能を維持しながら順調なスケジュールでワクチン接種業務を遂行することができた。	R3.4	R4.3	大樹町立病院
18	公共的空間安心・安全確保事業(選挙事務用品購入事業)	選挙執行に伴い、投・開票所において必要な対策を講じることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を図ることを目的とする。投票箱や投票記載台の数量を増やして投票者や事務従事者の接触を避けることにより、投票時に密を防止するとともに、投票用紙計数機や制御パソコンの数量を増やして作業効率を上げることで、開票時の時間短縮が図られる。	3,081,496	3,081,496	・投票用紙計数機 2台 ・投票用紙自動交付機 3台 ・投票箱 6箱 ・投票記載台 10台	接触機会の減少や開票作業の時間短縮など、投・開票所における感染拡大予防対策を実施することで、適切な選挙執行を図ることが出来た。	R3.6	R3.8	総務課
19	学校給食センター感染防止対策事業	学校給食センターでの感染防止・感染拡大防止のためマスク等衛生消耗品の確保・備蓄を目的とする。	2,047,925	2,047,925	ニトリル手袋(SS) 3,600枚 108,900円 ニトリル手袋(S) 64,100枚 1,939,025円	調理業務に必要なニトリル手袋が価格高騰かつ品薄な状況下にあつて、備蓄・確保が達せられ、児童生徒や調理員の感染防止、感染防止拡大が図られた。	R3.6	R3.7	給食センター
20	テレワーク環境整備事業	職員間の接触機会を減らす観点から、テレワーク等新たな働き方を推進・実施していくための環境を整備する。	5,834,620	5,834,620	①目的・効果 職員間の接触機会を減らす観点から、テレワーク等新たな働き方を推進・実施していくための環境を整備した。 ②交付金を充当する経費の内訳 I 行政情報端末機器(ノートPC15台) II 行政情報端末付属ソフトウェア26個 ③積算根拠(対象数、単価等) I 5,500,000円 II 334,620円	職員間の接触機会を減らす観点から、テレワーク等新たな働き方を推進・実施していくための環境を整備することで、職員間の感染症対策を行うことが出来た。	R3.10	R4.1	総務課
21	大樹町地産地消事業	コロナ禍において、イベントなどの物販販売の機会が減少する中、道の駅において、当町の特産品である肉や乳製品、魚貝類を売り場に豊富に取り揃えるための冷凍・冷蔵ストックを増設し、地場産品の魅力を発信・PRすることで、地産地消の推進・地域経済の好循環に繋げ、コロナの影響を受けた地域産業の振興を図る。またサテライトオフィス整備による防犯対策のため防犯ネットも整備する。	4,183,300	4,183,300	冷凍・冷蔵ストック(7台) 3,693,800円 防犯ネット 489,500円	冷凍・冷蔵ストックの導入により、地場産品の陳列が可能となったことから来場者に特産品の魅力を発信・PRすることができ、地域産業の振興を図ることができた。また、防犯ネットを導入したことにより陳列スペースの課題解決につながった。	R3.10	R4.3	企画商工課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
			総事業費(円)	うち交付金(円)			始期	終期	
22	学校給食センター設備衛生対策費	児童生徒や調理員の感染症予防のため、殺菌・洗浄効果が優れた機器を導入することで、学校及び学校給食センターでの感染防止・感染拡大防止を図る。	1,320,000	1,320,000	超音波洗浄機 1台 1,320,000円	今回導入された機器によって、洗浄効果が増し、児童生徒や調理員の感染防止、感染拡大防止が図られた。	R3.9	R3.10	給食センター
23	経済センターサテライトオフィス整備事業	外出自粛及びそれに伴うテレワークをはじめとする多様な働き方の拡大に対応するため、経済センター3階の商工会入居スペースの一部にインターネット環境整備や備品等を購入しサテライトオフィスとして整備する。	2,862,740	2,862,740	経済センター3階の一部を改修、Wi-Fi環境を整備するとともに、サテライトオフィスに必要な複合機やWEB会議用モニター、イスなどの備品を整備した。	コロナ禍における多様なライフスタイルに対応するため、町内にサテライトオフィスを整備することで、テレワークやワーケーションなどの受入体制が整った。現在、1事業者が利用している。	R3.10	R4.3	企画商工課
24	らいい運動器具整備事業	3密を十分配慮した上で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛生活における体力低下の改善、健康維持を目的にらいいの運動器具を整備する。	2,090,000	2,090,000	ランニングマシン購入(2台) ・ASSAULT Runner Elite ・トレッドミル	台数の増加により、多くの人がランニングマシンを利用可能になり、運動器具の充実により、新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛生活における体力低下の改善が図られた。	R3.9	R3.11	保健福祉課
26	新型コロナウイルス検査費用助成事業	事業所内で新型コロナウイルスの感染者が発生した場合に、行政検査の対象とならない従業員等の検査費用を助成し、感染拡大防止を図る。	496,000	496,000	事業所2カ所、62人分の検査費用を助成した。	新型コロナウイルスの感染拡大防止が図られた。	R3.4	R4.3	保健福祉課
27	図書館パワーアップ事業	コロナ禍における巣ごもり需要に対応し、在宅で過ごす時間を豊かなものにするため、図書館の蔵書を増やす。	3,283,808	3,231,614	コロナ禍で個人・学校等での需要にこたえるため、図書館の蔵書を購入した。 一般書 1,041冊 1,631,070円 児童書 1,006冊 1,600,544円	外出を避ける個人の巣ごもり需要や、教育現場での団体貸出しなどに利用され、読書環境の充実が図られた。	R3.4	R4.3	図書館
28	行政区会館感染防止対策事業	災害時避難所に指定されている行政区会館において、テーブル・イスの数を増やし席間隔を空けることで、3密を避け感染リスクの低減を図る。	947,000	947,000	生花行政区会館 ・折りたたみテーブル(ハイタイプ):5台 ・折りたたみテーブル(高さ630mm):10台 ・スタッキングチェア:40脚	テーブル、イスを増やしたことにより席間隔をあけることができ、3密が避けられ感染リスクの低減が図られた。	R3.10	R3.12	住民課
29	雇用創出事業	新型コロナウイルス感染症の影響により就労機会を失った方々に対して雇用を創出するため、臨時的に大樹町が町内企業へ工事を発注し地域活性化を図る。	5,280,000	5,280,000	事業内容: 芽武地区農業用排水路支障木伐採処理 雇用期間: 令和4年1月24日～令和4年2月3日 雇用人数: 14人	新型コロナウイルス感染症の影響により、就労機会を失った町民の雇用創出を図ることができた。	R3.12	R4.2	企画商工課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
30	大樹町中小企業等特別支援金給付事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態措置等により、経営に影響が及んでいる町内中小企業等を支援し、事業者の経営継続につなげる。	7,192,480	7,192,480	令和3年5月から9月の売上額が、令和2年または令和元年の同じ月と比較して20%以上減少した町内小売業、宿泊業、飲食サービス業等に対し支援金を給付。 ・支援金総額:7,192,480円(40事業所)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、売りが減少した町内小売業、宿泊業、飲食サービス業等に対して支援金を給付することにより、事業継続の下支えにつながった。	R3.10	R3.12	企画商工課
31	水産物付加価値向上事業	長引く不漁、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け厳しい経営状況の漁業協同組合または漁業共同経営体が行う水産物の付加価値を向上するための取り組みに対する財政的支援を行う。	2,080,000	2,080,000	漁協所属の漁業共同経営体に対し、次の設備を導入するための補助金を交付。補助対象経費2,600,000円×補助率4/5 魚介類鎮静化装置	導入が秋さけ定置網漁の時期に間に合わず、令和3年度中の活用は無かったため、効果検証には至らなかった。令和4年度からの活用効果に期待している。	R3.11	R4.1	農林水産課
32	教員用タブレット端末購入整備事業	大樹小中学校に教員用のタブレットを整備し、学習環境のICT化を図ることにより、遠隔・オンライン学習が可能となる環境を整備する。	1,678,050	1,678,050	タブレット端末(小学校12台、中学校9台) 1,041,810円 端末管理ソフト 57,750円 学習支援ソフト 57,750円 フィルタリングソフト 194,040円 設定費用等 326,700円	児童と同じ端末を整備することで操作方法の指導等が効率化され、遠隔・オンライン学習を推進できる環境が整備された。	R3.11	R3.12	学校教育課
33	水産関連産業流通・衛生環境向上事業	長引く不漁、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け厳しい経営状況の漁業協同組合が行う流通・衛生環境の向上に資する設備の導入に対し補助金を交付する。	2,304,000	2,304,000	漁協に対し、次の設備を導入するための補助金を交付。補助対象経費2,881,000円×補助率4/5 ①脱気装置式収縮包装設備の導入 ②自動梱包設備の導入	流通・衛生環境向上による販路拡大・販路促進に資する取組みに対する支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域の水産業の振興を図ることができた。	R3.12	R4.3	農林水産課
34	漁業経営持続支援事業	新型コロナウイルス感染症による影響で売りが減少した大樹漁業協同組合所属の漁業経営体(法人・個人事業者)の経営を継続するための支援を行い、新型コロナウイルスが地域水産業に与える影響を最小限に抑える。	5,800,000	5,800,000	29事業体に計5,800,000円の支援金を給付した。(内訳) 経営が悪化した事業者 @200,000×29事業体	新型コロナウイルス感染症の影響によって魚価が低下するなどして収入が減少した漁業者の経営の継続を図ることができた。	R4.1	R4.1	農林水産課
36	秋さけ定置漁業緊急支援事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う単価の低下や漁業不振により、漁業経営の圧迫が予想され、秋さけ定置漁業の事業継続に影響を及ぼすことから、補助金を交付し漁業経営を支援する。	3,593,000	3,593,000	秋さけ定置網漁業の事業継続のための支援金として補助金を交付 漁獲高 179,694,806円×2%≒3,593,000円(千円未満切捨て)	新型コロナウイルス感染症の影響によって魚価が低下するなどして収入が減少した漁業者の経営の継続を図ることができた。	R3.12	R3.12	農林水産課
37	インフルエンザ予防接種助成事業	インフルエンザ予防接種費用を助成することで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぎ、医療体制の維持につなげる。	1,580,500	1,580,500	インフルエンザ予防接種を受けた(65歳以上) 1,193件	インフルエンザの流行を防ぎ、医療体制の維持が図られた。	R3.11	R4.1	保健福祉課

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要	総事業費(円)		事業実績	効果検証	事業期間		担当課
				うち交付金(円)			始期	終期	
38	インフルエンザ予防接種助成事業	インフルエンザ予防接種費用を助成することで、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぎ、医療体制の維持につなげる。	811,000	811,000	インフルエンザ予防接種を受けた(0~18歳及び妊婦) 38件	インフルエンザの流行を防ぎ、医療体制の維持が図られた。	R3.11	R4.1	保健福祉課